

# 事業報告書

平成26年度  
自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

公益社団法人全国子ども会連合会  
東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会連合会ビル



## ■事業統括

平成 21 年度から今日まで、保険業法改正に伴う PTA 等共済法に基づく制度共済への移行のために、また公益法人制度改革による特例民法法人から公益社団法人への移行認定のために多くの時間と労力が必要とされました。

2 つの大きな制度改革は、制度共済と公益社団法人の運営面でも大きな影響をもたらしました。

共済事業については、全てが法律に基づく運営が求められることになり、従来の安全会とは全く違う運営をしなければいけなくなったこと。

公益法人制度改革では、公益法人は法人自らが最も適切と判断する事業を展開し、その評価を社会に問うという「法人自治」が基本となりました。旧制度のように、主務官庁が一々これを指導することがなくなり、「自己責任」により法人自らが責任を負うことになりました。

この 2 つの大きな社会的変革への対応を念頭に置き進めてきた 26 年度の事業について、総括的に報告する。

### 1. 連合会事業

- (1) ジュニア・リーダーを育てる組織としてシニア・リーダー研修会を東京で開催した。今後も引き続き、シニア・リーダーとジュニア・リーダーのネットワーク創りを目指し、子ども会活動の活性化を図ることとした。
- (2) ジュニア・リーダーについては、中学生・高校生年齢相当を対象として研修、情報交換等を行うことにより、その資質向上を図ることを目的に各地区ごとに研修大会を開き、必要経費の一部を負担した。
- (3) 第 48 回全国子ども会育成中央会議・研究大会は、平成 27 年 2 月 20 日～22 日に指定都市子ども会連絡協議会が担当地区になり開催された。  
「自然との共生・未来に贈りたい環境」をテーマに子ども会のあり方を研究した。本年度も、名古屋市を中心に企画から運営面まですべてに亘り地域の特徴を生かした研究大会とした。
- (4) 地区子ども会育成研究協議会については、指導者、育成者の子ども会発展のための情報交換、協議の場としてシンポジウム、分科会を開催した。子ども会活動の振興に資する研究協議会であり、必要経費の一部を負担した。
- (5) 子ども会 K Y T (危険予知トレーニング) 指導者養成講習会  
指導者資格認定制度が進められ、初級指導者養成講習会が都道府県・指定都市子連の指導者により開催されるようになった。
- (6) 各分野での専門家と連携し、スポーツでの怪我防止対策マニュアルを作成した。平成 27 年 5 月末に斡旋する。
- (7) 加入者については、3,885,636 人で 400 万人を切るまで減少した。

- (8) 健全な共済事業の運営を行うため、全子連は役職員、また県・市子連に対しても、PTA・青少年教育団体共済法及び施行規則、監督指針で求められているリスク管理や、審査基準、マニュアルについての研修を随時行ない、健全な共済事業の運営に努めた。

## 2. 監査の指摘を受けて

26年5月8日、監事の所見に基づき、以下の改善を図った。

### (1) 財政面について

- ① 財務の健全化を図るため、諸会議の開催及び日常業務の合理化を進めた。
- ② 安全会会計については、年間を通して請求がなかった。
- ③ 共済事業については、スポーツ活動中の事故対策として、専門家による事故防止マニュアルを作成した。

### (2) 組織について

公益法人の運営のため、諸規程の整備など、内部管理体制を一層強化し公益性の業務を遂行できるよう組織作りに努めた。

### (3) 事業について

- ① 子ども会KYTについては、指導者認定制度により指導者育成が進められた。
- ② 各委員会の見直しを行い、定款改正により委員会のあり方を改正した。

## ■組織の状況

### I 組織の状況

#### 1 平成26年度の会員状況

正会員：59（46都道府県＋13政令指定都市）

#### 2 役員に関する事項

(1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任 年月日	任期満了	重要な兼職の 状況
丸山康昭 (熊本県)	会長		平成26年 5月28日	※	
磯田謙一 (島根県)	副会長	共済事業 安全会	平成26年 5月28日	※	
河本功 (静岡県)	副会長	総務財務	平成26年 5月28日	※	
野瀬武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成26年 5月28日	※	
佐々木正市 (秋田県)	理事		平成26年 5月28日	※	
中川輝夫 (茨城県)	理事		平成26年 5月28日	※	
大鹿良夫 (埼玉県)	理事		平成26年 5月28日	※	
荒井公夫 (富山県)	理事		平成26年 5月28日	※	
小林幸男 (岐阜県)	理事		平成26年 5月28日	※	
安部侃 (滋賀県)	理事		平成26年 7月23日	※	
池田龍男 (福岡県)	理事		平成26年 5月28日	※	
中山良明 (大阪市)	理事		平成26年 5月28日	※	
樋口修資 (学識経験)	理事		平成26年 5月28日	※	
新田新一郎 (学識経験)	理事		平成26年 5月28日	※	
成田國英 (学識経験)	常務理事		平成26年 5月28日	※	
後藤守吉 (群馬県)	監事		平成26年 5月28日	※	
中山ひろみ (大阪府)	監事		平成26年 5月28日	※	

※任期満了は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時。

(2)平成26年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	退任の理由
細川 昭一 (札幌市)	理事		平成24年6月13日 ～平成26年5月28日	任期満了のため
山上 武久 (神奈川県)	理事		平成24年6月13日 ～平成26年5月28日	任期満了のため
武士俣 昭司 (新潟県)	理事		平成24年6月13日 ～平成26年5月17日	県代表者辞任のため
丸山 雄一郎 (長野県)	理事		平成24年6月13日 ～平成26年5月14日	県代表者辞任のため
小林 勝弘 (兵庫県)	理事		平成24年6月13日 ～平成26年6月6日	県代表者辞任のため

## II 都道府県・指定都市子連の状況

### 1 代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
札幌市	佐藤 欣一	細川 昭一	平成26年6月28日	
横浜市	工藤 春治	三橋 赫夫	平成26年5月16日	
新潟県	須田 貴子	武士俣 昭司	平成26年5月17日	
長野県	宮澤 淳治	丸山 雄一郎	平成26年5月14日	
大阪府	石橋 寿恵夫	中山 ひろみ	平成26年6月12日	
兵庫県	揖場 攝	小林 勝弘	平成26年6月6日	
岡山市	久世 英一	神崎 禎介	平成26年5月31日	
佐賀県	前田 正義	吉田 欣也	平成26年6月3日	
鹿児島県	永野 治	橋 和仁	平成26年6月5日	

### 2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙1 参照

## ■事業報告

### I 公益目的事業（連合会事業）

#### A 子ども会活動の指導及び育成事業

##### 1) ジュニア・リーダーの活動研究と支援のあり方を研究する

① シニア・リーダー研修担当理事が今後のあり方を研究した。

② 平成26年度全国子ども会シニア・リーダー研修会

ア) 日程：平成26年9月20日～21日

イ) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ) 参加者：68名 全子連スタッフ10名

エ) 参加費：5,000円

オ) 実施した主な内容

1日目 開会式

基調講義 全国子ども会連合会 副会長 河本 功氏

福井県子ども会育成連合会 会長 上田 秀徹氏

高知市市民協働部地域コミュニティ推進課 課長補佐 森岡 眞秋氏

全国子ども会連合会 理事 新田 新一郎氏

2日目 分科会

全体会

閉会式

##### 2) 地区子ども会ジュニア・リーダー大会

ア) 目的：研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ) 内容：青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ) 助成金額：平成26年6月30日付けの共済加入人数×1.5円を限度に運営費として全子連が実費を負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	26.8.7～10	国立大雪青少年交流の家	51名
東北	秋田県	26.8.1～3	秋田県立保呂羽山少年自然の家	98名
関東甲信越静	神奈川県	26.8.15～17	厚木市七沢自然ふれあいセンター	87名
(東京都)	東京都	26.7.30～8.4	三宅村活動火山対策避難施設	24名
東海北陸	三重県	26.8.2～4	三重県立鈴鹿青少年センター	74名
近畿	滋賀県	26.11.8～9	湘南市青少年自然道場	47名

中国・四国	高知県	26.8.22～24	国立室戸青少年自然の家	143名
九州	鹿児島県	台風のため中止	鹿児島県立青少年研修センター	-
指定都市	仙台市	27.3.27～29	オーエンス泉岳自然ふれあい館	84名
合 計				608名

### 3) 全国子ども会連合会表彰

- ・7月 子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰
- ・2月 指導者、育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞の表彰  
(中央会議の情報交換会と一緒に祝いのお会を行い、情報交換会費を全子連が負担した)

表 彰 区 分	団体数・個人数
単位子ども会組織 (団体)	15団体
ジュニア・リーダー組織 (団体)	12団体
指導者、育成者 (個人)	66名
指導者組織及び育成組織 (団体)	14団体
奨励賞 (団体)	7団体

## B 指導者及び育成者相互の連携事業

### 1) 第48回全国子ども会育成中央会議・研究大会

- ア) 日 程：平成27年2月20日(金)～22日(日)
- イ) 会 場：名古屋市中区役所ホール / 名古屋東急ホテル
- ウ) 参 加 者：546名
- エ) 参 加 費：3,000円
- オ) 事 業 内 容：
  - <1日目(20日)>
  - ・ 開会式
  - ・ 表彰式
  - ・ オリエンテーション
  - ・ 記念講演 「レンズから見た自然～子どもたちへのメッセージ～」  
講演者 動物写真家 小原 玲氏
  - ・ 活動発表 子どもたちによる伝統芸能「お囃子演奏」(中村区新明・六反学区)
  - ・ 受賞者を囲む会・情報交換会



<2日目(21日)>

- ・ 分科会
  - 第1分科会 「語り合おう 環境にやさしい子ども会活動」
  - 第2分科会 「自然との関わりを持った子ども会活動」
- ・ 体験研修会
  - 大会議室①「クラフト」ストローツリー・キラキラシャボン玉・ステンドグラス等
  - 大会議室②「クラフト」ランドセルキーホルダー・タオルでつくる「負けない象」等
- ・ 視察・体験コース伝統文化コース「徳川美術館・徳川園・文化のみち二葉館・揚輝荘」
  - A. 歴史探究コース 「名古屋城・能楽堂・ノリタケの森・名古屋市科学館」
  - B. 体験コース① 「有松・鳴海絞り体験 絞会館見学と神の井酒造」
  - C. 体験コース② 「陶芸体験・東山動植物園・神の井酒造」
  - D. 鑑賞コース 「名古屋港水族館・リニア鉄道館・熱田神宮」

<3日目(22日)>

- ・ 全体会
- ・ 自然との共生 未来への提言
  - 「子どものころの体験と、その後の人生との関わり」 山川 幹子氏
  - 「学校では学べないものがある 子ども会活動」篠田 陽作氏
- ・ 閉会式
- ・ わくわく抽選会

## 2) 地区子ども会育成研究協議会

ア) 日 程：地区会長会議において内容を検討し、指導者、育成者の子ども会発展のための情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資する。

イ) 内 容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ) 助 成 金：平成26年6月30日付けの共済会加入人数×4円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	26.10.11~12	江差町文化会館	80名
東北	福島県	26.11.15~16	レイクサイド磐光	210名
関東甲信越静	千葉県	26.10.18~19	マロードインターナショナルホテル成田	303名
(東京都)	小金井市	26.11.24	小金井市市民交流センター	150名
東海・北陸	福井県	26.10.4~5	アオッサ等	295名

近畿	和歌山県	26. 11. 29～30	ホテルシーモア	141名
中国・四国	広島県	26. 11. 8～9	広島県民文化センターふくやま	416名
九州	熊本県	26. 11. 15～16	ホテル熊本テルサ	420名
指定都市	川崎市	26. 11. 8～9	川崎市産業振興会館	295名

## C 講習認定登録事業

### 1) 集団指導者、ジュニア・リーダー講習認定事業

#### ア) ジュニア・リーダー

初級		中級		上級	
東京都	5名	埼玉県	18名	札幌市	43名
愛知県	14名	千葉県	50名	青森県	8名
北九州市	3名	東京都	7名	秋田県	10名
沖縄県	17名	愛知県	12名	埼玉県	20名
		高知県	1名	千葉県	3名
		沖縄県	40名	高知県	1名
				沖縄県	11名
合計	39名	合計	128名	合計	96名

#### イ) 集団指導者

初級		中級		上級	
埼玉県	7名		0名	札幌市	34名
千葉県	10名				
沖縄県	2名				
合計	19名	合計	0名	合計	34名

### 2) 子ども会KYT初級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	青森県	6月29日	11名
		10月26日	37名
北海道・東北	宮城県	6月22日	27名
関東甲信越静	茨城県	6月7日	15名
関東甲信越静	栃木県	6月15日	34名
関東甲信越静	群馬県	5月11日	70名
関東甲信越静	埼玉県	5月25日	13名
関東甲信越静	千葉県	6月28日	13名
関東甲信越静	神奈川県	6月1日	17名
関東甲信越静	新潟県	7月13日	16名

関東甲信越静	長野県	6月28日	11名
関東甲信越静	静岡県	7月6日	13名
東海・北陸	福井県	7月12日	24名
東海・北陸	岐阜県	1月18日	81名
東海・北陸	三重県	6月22日	16名
中国・四国	中国・四国地区	12月6日	21名
中国・四国	高知県	2月15日	8名
九州	福岡県	7月6日	33名
九州	佐賀県	9月7日	10名
九州	長崎県	6月21日	24名
九州	大分県	3月25日	17名
九州	宮崎県	11月30日	24名
九州	鹿児島県	6月28日	57名

### 3) 子ども会KYT中級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	宮城県	1月24日25日	30名
関東甲信越静	千葉県	11月29日30日	45名

## D 安全普及啓発活動

・「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」の3項目に重点を置き、死亡事故0運動を最大限の目標に掲げ、県子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。また、子ども会活動を行なう前には子ども会KYT（危険予知トレーニング）を行なうよう周知徹底を進めた。

- ・スポーツ活動中の事故対策として、専門家による事故防止マニュアルを作成した。
- ・各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、2地区22縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各10万円を限度に交付した。

県・市・地区	活動名
北海道	平成26年度檜山子連安全対策教室「平成26年度江差町子ども会安全教室」
岩手県	岩手県ジュニア・リーダー活動集会防災&KYT研修わんぱく広場2014
東北地区	平成26年度子ども会安全普及啓発活動講習会
宮城県	平成26年度子ども会交通安全講習会 平成26年度宮城県市町村ジュニア・リーダー（中学生）技術研修会
仙台市	仙台市子ども会育成者研修会
秋田県	平成26年度秋田県ジュニア・リーダー等冬期研修会及び安全普及啓発活動
山形県	KYT担当委員研修会（防災・交通安全）
茨城県	平成26年度市町村子ども会行政担当者研修会 平成26年度子ども会育成基幹指導者養成講習会
群馬県	県子連市町村会長連絡会

千葉県	一祭合祭
東京都	e-ネット安心講座
神奈川県	2014 指導者講習会「ぼうさいマップをつくろう！」
横浜市	避難所宿泊体験
川崎市	安全研修会（KYT講習会・熱中症予防）・育成者研修会（成人研修会）
長野県	防災マップ作成及び交通危険箇所点検
静岡県	安全教育指導者養成研修会
三重県	三重県子連体験学習 交通安全教室&みかん狩り
大阪府	大阪府子ども会安全共済会スポーツ事業（ドッジビーにTRY!）
大阪市	安全普及啓発講習会
兵庫県	地域を・生命を・災害から守るワークショップ
和歌山県	指導者研修会における研修 テーマ「防災といのち」
島根県	平成 26 年度自転車乗方安全教室
中国・四国地区	KYTキケン予知トレーニング初級指導者養成・スポーツ競技の練習や大会での事故防止についての講習会
岡山県	KYT登山

## E 資料の刊行情報提供事業

### 1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。前年度までの群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県に引き続き、26年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県のホームページを作成し、また、鳥取県、埼玉県は作成中である。また、各県・市子連から作成の相談や依頼を受けている。

### 2) 情報収集・提供

各都道府県・指定都市子連の24・25年度共済データ（共済支払状況）を作成。ハンマーヘッド上に掲載。

### 3) 全子連 50 周年記念誌の作成事業

#### ①全子連 50 周年記念誌部会編集委員（敬称略）

小菅知三（部会長）、速水順一郎（副部会長）、明石要一、宇田川光雄、河村隆  
佐々木あい子、高崎盛雄、高橋登志子

#### ②担当理事

50 周年記念事業実行委員長：河本功副会長

（6月7日まで小林勝弘元副会長が担当。理事辞任に伴い変更）

50 周年記念誌作成担当理事：成田國英常務理事

#### ③平成 26 年度開催 編集部会

第1回 平成 26 年 6 月 24 日

末吉元常務理事への聞き取り取材について（報告）、第4章の変更案について 等

第2回 平成27年1月15日

発行までのスケジュールの確認、執筆担当者と50年史の内容の確認等

④取材

平成26年5月31日

取材対象者：末吉裕郎元常務理事・事務局長

取材内容：発足から改組、事業経過、組織改正・事業拡大との関係等

⑤その他

平成28年5月刊行予定

## F 企業団体等連携事業

### 1) 企業・団体との共同による事業の展開

ア) カルビー夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：カルビー株式会社

実施場所：札幌市、宮城県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、名古屋市、大阪府、大阪市、兵庫県、神戸市、香川県、福岡県

協賛内容：ラジオ体操カード及びかっぱえびせんの提供(約7万件)と協賛金

イ) ポケモン夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：株式会社ポケモン

実施場所：横浜市、川崎市

協賛内容：ラジオ体操カード提供(2万件)と協賛金

ウ) バンダイ夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：バンダイ

実施場所：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市

協賛内容：ラジオ体操カード提供(3万件)と協賛金

エ) トヨタカローラ夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：トヨタカローラ

実施場所：北海道、秋田県、富山県

協賛内容：ラジオ体操カード提供(3千件)と協賛金

オ) テトラパック子ども会ドッジビー大会

協賛企業：日本テトラパック株式会社

実施場所：群馬県、東京都、大阪府、福岡県

協賛内容：参加者全員への記念品と、飲料の提供と協賛金

カ) ソイカラ夏休み子ども会ラジオ体操キャンペーン

協賛企業：大塚製薬

実施場所：岩手県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、横浜市、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県

協賛内容：①ソイカラの提供(約6万個)と協賛金

②芸能人(COWCOW・NON STYLE)との体操コラボ

キ) ウィルスに負けるなキャンペーン

協賛企業：株式会社ヒロモリ

実施場所：(育成研) 福島県、千葉県、東京都、川崎市、和歌山県、広島県、熊本県  
(上毛かるた大会) 群馬県

協賛内容：子ども会体操の制作。キャンペーンチラシ作成。ヤクルト2,185個配布。

2) 子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定した。

継続申請 5件・新規申請 3件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
リポビタミンD キッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・カルシウム配合のリポビタミンD	継続
「mamorino3」	au KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
「みまもり携帯」	ソフトバンクモバイル株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
スマートフォン forジュニア2	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
キッズケータイ 「ドコッチ」	株式会社NTTドコモ	子どもの見守り機能がついたスマートフォンウォッチ	新規
「miraie」	au KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	新規
メアリーと秘密の 王国	マイシアター株式会社	文科省選定のCGアニメーション映画	新規

## G 助成金事業

### 1) 子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

#### ① 集団遊び普及活動「ドリームキッズアドベンチャー」

事業目的：現代の子どもたちに不足している「他人とお互いに協力し、物事を成し遂げる」ことを普段から活用している「遊び」を通じてその大切さを体験する事業。同時に地域の大人、特に子ども会を始めとする青少年団体の指導者育成者に集団遊びの重要性を啓蒙し、地域での実践を促進していく。

また、今年度で本会が主催する集団遊びの事業は終了となったので、地域で今後実践するためのノウハウ、子どもゆめ基金の活用の普及にも力を入れた。

開催地	開催期日	会場	参加人数
福井県	平成 26 年 12 月 7 日	越前市国高小学校体育館	208 名
広島県	平成 26 年 12 月 14 日	江田島市スポーツセンター	237 名
仙台市	平成 27 年 1 月 11 日	仙台市立栗生小学校体育館	246 名
沖縄県	平成 27 年 1 月 25 日	金武町立体育館	215 名
福岡県	平成 27 年 3 月 22 日	八女市立上陽北浜学園小中学校体育館	235 名

#### ② 全国子ども会読み聞かせキャラバン

事業目的：読み聞かせを通じて子どもたちの感性や表現力、コミュニケーション能力を育むことを目的とした事業。同時に読み聞かせの指導者を養成することにより、読み聞かせの輪を広げ、継続的な地域での活動を促進していく。午前に子どもを対象とした読み聞かせ会、午後に大人を対象とした指導者養成セミナーを実施した。また、今年度で本会が主催する読み聞かせ事業は終了となったので、地域で今後実践するためのノウハウ、子どもゆめ基金の活用の普及にも力を入れた。

開催地	開催期日	会場	参加人数	
			子ども	大人
広島県	平成 26 年 10 月 25 日	安芸高田市民文化センター (クリスタルアージュ)	39 名	51 名
北海道	平成 26 年 12 月 20 日	余市町中央公民館	37 名	48 名
横浜市	平成 27 年 1 月 18 日	横浜市青少年育成センター	29 名	53 名
東京都	平成 27 年 2 月 14 日	コミュニティプラザ一之江	38 名	74 名
神奈川県	平成 27 年 3 月 1 日	横須賀市青少年会館	32 名	58 名
仙台市	平成 27 年 3 月 15 日	泉区中央市民センター	39 名	58 名

### 2) 公募寄付金の募集

#### ● 東日本復興支援のための寄附金募集

- ・ 募金額

7,407 円

## H 賠償責任保険の契約

### 1) 平成 26 年度発生事故（報告件数、支払状況）

#### ①対人事故報告件数=6 件

- ・手続き中 1 件
- ・支払対象外・請求放棄 5 件

#### ②対物事故報告件数=152 件

- ・支払済 121 件 3,228,146 円
- ・手続き中 47 件
- ・支払対象外・請求放棄 37 件

#### ③対人+対物事故報告件数=1 件

- ・手続き中 1 件

### 2) 平成 25 年度以前発生事故（支払状況）

#### ①対人事故

- ・支払済 0 件

#### ② 対物事故

- ・支払済 39 件 1,184,970 円

#### ③対人+対物事故

- ・支払済 0 件

## I 物販事業

1) 売上金額 3,917,536 円

## J 安全会事業

	件数 (件)	金額 (円)	計
疾病・傷害	0	0	0



## K 共済事業

### 1. 加入状況

(単位:名)

幼児	子ども	指導者・育成者	計
143,414	2,629,007	1,113,215	3,885,636

### 2. 共済金支払状況

#### 1) 平成24年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	1	4,150,000	子ども1名
疾病・傷害	6	629,805	入院・通院に関する給付
計	7	4,779,805	

#### 2) 平成25年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	10	1,878,717	子ども6名、大人4名
疾病・傷害	725	20,645,681	入院・通院に関する給付
計	735	22,524,398	

#### 3) 平成26年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	3	15,000,000	大人3名
後遺障害	7	630,000	子ども6名、大人1名
疾病・傷害	2,789	32,004,339	入院・通院に関する給付
計	2,799	47,634,339	

#### 4) 合計

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	3	15,000,000	大人3名
後遺障害	18	6,658,717	子ども13名、大人5名
疾病・傷害	3,520	53,279,825	入院・通院に関する給付
合計	3,541	74,938,542	

### 3. 立入検査について

平成26年9月2日～5日

指摘事項等詳細は別紙2のとおり

#### 4. 業務委託について

59 の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、38,856,130 円を支出。

#### 5. 準備金等の積立について

平成 26 年度共済純掛金の総額 = 89,038,868 円 (a + b)

a 23 円 × 3,852,560 人 (加入者数) = 88,608,880 円 (前期 4 月～9 月加入)

b 13 円 × 33,076 人 (加入者数) = 429,988 円 (後期 10 月～3 月加入)

#### ①責任準備金について

純掛金 × 50 ÷ 1000 = 4,451,943 円

#### ②普通支払備金について

24 年度分 91,582 円

25 年度分 54,780 円

26 年度分 11,138,022 円

合 計 11,284,384 円

#### ③IBNR 備金の算出方法

$$\left[ \left\{ \text{前期末IBNR備金} \times (\text{当期共済金支払総額} + \text{当期末普通支払備金}) \div (\text{前期共済金支払総額} + \text{前期末普通支払備金}) \right\} + \left\{ \text{前々期末IBNR備金} \times (\text{当期共済金支払総額} + \text{当期末普通支払備金}) \div (\text{前々期共済金支払総額} + \text{前々期末普通支払備金}) \right\} \right] \div 2$$

$$= [ \{ 42,657,282 \text{ 円} \times (74,880,918 \text{ 円} + 11,284,382 \text{ 円}) \div (83,195,045 \text{ 円} + 14,149,636 \text{ 円}) \} + \{ 29,545,800 \text{ 円} \times (74,880,918 \text{ 円} + 11,284,382 \text{ 円}) \div (44,399,649 \text{ 円} + 23,024,395 \text{ 円}) \} ] \div 2$$
  
$$= (37,758,380 \text{ 円} + 37,758,380 \text{ 円}) \div 2$$
  
$$= 37,758,380 \text{ 円}$$

#### ④準備金について

c 共済事業経常収益計 250,845,921 円

d // 経常費用計 218,573,589 円 (準備金以外)

剰余金は全額準備金とするとの事業計画に基づき

c - d = 32,272,332 円を準備金として計上した。

## 6. 共済会計における財産及び損益の状況

### ①財産の状況

(単位:円)

項目	平成 27 年 3 月 31 日現在	平成 26 年 3 月 31 日現在
流動資産	52,734,890	46,926,372
固定資産	115,012,926	79,485,697
資産合計	167,747,816	126,412,069
負債合計	153,135,386	126,285,084
正味財産	14,612,430	126,985
準備金	75,746,651	43,474,319

### ② 損益の状況

(単位:円)

項目	平成 27 年 3 月 31 日現在	平成 26 年 3 月 31 日現在
当期収入	250,845,921	253,108,725
過年度修正益	0	153,720
当期支出額	250,845,921	253,262,445
事業費	250,845,921	253,262,445
うち共済金	74,880,918	83,195,045
当期収支差額	0	0

## 7. 今後の課題

共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して重点的に進める。

また、財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進めることが重要である。

業務委託先である県・市子連との連携の強化とリスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していくこと、中でもスポーツ事故の軽減が重要である。

### <その他>

#### (1) 事務担当者会議

##### ■平成 26 年度事務担当者会議

日 時：平成 26 年 4 月 17 日（木） 13：00～17：00

平成 26 年 4 月 18 日（金） 9：00～12：00

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 101 号研修室

（情報交換会：17 日 18 時～センター棟 101 号研修室）

参加人数：県・市子連・・・92 名、全子連・・・9 名

文部科学省：社会教育課PTA等共済室PTA等共済指導係長 吉谷 正 様

社会教育課PTA等共済室PTA等共済指導専門職 向 真理 様

内 容：＜一日目＞

1. 共済事業研修

「PTA等共済法に基づく共済事業について」 講師 吉谷 正 様

2. 子どもゆめ基金助成活動について

3. 県・市子連事務局の業務について

4. 情報交換会

＜二日目＞

1. 平成 26 年度全子連事業について（9：00～10：30）

2. 法人運営について

「法人化について」 講師 吉谷 正 様

3. 質疑応答

## II 収益事業

### 1 全子連ビル管理・賃貸事業

(1) 賃貸事業

①NPO法人東京都子ども会連合会 賃貸収入 1,359,300 円／年

②貸し会議室賃貸収入 149,020 円

(2) ビル管理事業

エレベーター保守点検費用 235,980 円／年 、警備費用 149,040 円／年

(3) ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

・建替準備資産 当年度繰入 1,646,260 円 当年度末 16,462,600 円

・大規模修繕準備資産 当年度繰入 2,865,000 円 当年度末 8,595,000 円

### Ⅲ 法人の運営について

#### 1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

- 1) 文科省の研修に参加し、共済業務知識の習得を図った。
- 2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

#### 2. 傷害保険等の契約

- 1) 傷害（NPO）保険 ————— 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象
  - ・加入者数 166 人
  - ・支払保険金 2 件 (16,000 円)
- 2) ボランティア活動保険（たんぽぽ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、無償ボランティアを対象
  - ・加入者数 3,809 人
  - ・支払保険金 2 件 (20,000 円)

#### 3. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成 26 年 5 月 28 日	出席者 47 名  委任状 9 名  欠席者 3 名	1. 平成 25 年度事業報告について 2. 平成 25 年度決算報告について 3. 定款の変更（修正）について 4. 平成 26 年度事業計画の修正について 5. 平成 26 年度第 2 回補正予算案について 6. 役員の改選について  報告事項 1. 監事監査報告	承認 承認 承認 承認 承認 承認
臨時総会 平成 26 年 7 月 23 日	出席者 19 名  委任状 4 名  議決権 行使 35 名	1. 役員の選任について	承認
予算総会 平成 27 年	出席者 46 名	1. 平成 27 年度事業計画書について 2. 平成 27 年度収支予算書について	承認 承認

2月19日	委任状 9名  欠席者 3名	3. 定款の一部改正について 4. 総会運営規則の一部改正について 5. 共済規程のうち事業方法書の一部改正について  報告事項 1. 総会報告規程の制定について	承認 承認 承認
-------	----------------------------	--	----------------

#### 4. 理事会について

期日	出欠	内容	審議結果
第1回 平成26年 5月14日	出席者 14名  欠席者 1名  監事 2名	1. 平成25年度事業報告について 2. 平成25年度決算報告について 3. 定款の変更(修正)について 4. 平成26年度事業計画の修正について 5. 平成26年度第2回補正予算について 6. 平成26年度定時総会招集について  報告事項 1. 監事監査報告	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第2回 平成26年 5月28日	出席者 13名  欠席者 0名  監事 2名	1. 平成26年度定時総会の運営について 2. 新規正会員の承認について	承認 承認
第3回 平成26年 5月28日	出席者 15名  欠席者 0名  監事 2名	1. 会長及び副会長の選定について ①会長の選定について ②副会長の選定について	選定 選定
第4回 平成26年 7月3日	出席者 14名  欠席者 0名  監事 2名	1. 臨時総会開催について 2. 50周年記念事業について 3. 委員会開催について 4. 地区運営について 5. 共済の審議委員会について 6. ジュニア・リーダーの活動研究と支援委員会について 7. 全国子ども会育成中央会議・研究大会の開催について 8. 安全普及啓発活動について 9. 新規正会員の承認について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第5回 平成26年 7月23日	出席者 15名	1. 新規正会員の承認について 2. 全国子ども会連合会推奨マークの使用承認について	承認 承認

	欠席者 0名  監事 2名	3. 今後の運営について ①全国一斉ラジオ体操の開催 ②指導者資格認定方法の見直し  報告事項 1. 文科省からの依頼文書について	承認 継続審議
第6回 平成26年 10月9日	出席者 15名  欠席者 0名  監事 2名	1. 平成27年度の事業計画について 2. 総会の開催方法について 3. 常置委員会のあり方について・今後の運営について 4. 定款及び関連規定の改正について 5. 50周年記念事業について ①記念式典の実施について ②記念誌の作成について  報告事項 1. 安全共済事業に対する文部科学省の立入検査結果について	承認 承認 承認 承認  承認 承認
第7回 平成26年 12月9日	出席者 13名  欠席者 2名  監事 2名	1. 平成27年度事業計画書(案)について 2. 平成27年度収支予算書(案)について 3. 定款の一部改正について 4. 安全共済会被共済者適用範囲の拡大について 5. 平成27年度中央会議・研究大会の開催日について (50周年記念式典) 6. 表彰規程の一部改正について 7. 平成26年度予算総会議題について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第8回 平成27年 1月23日	出席者 14名  欠席者 1名  監事 2名	1. 平成27年度事業計画書(案)の修正について 2. 平成27年度収支予算書(案)について 3. 定款及び総会運営規則の一部改正案への附則の追記について 4. 総会報告規程の制定について 5. 平成26年度予算総会の開催について  報告事項 1. 登記済権利証紛失について	承認 承認 承認 承認 承認



5. 委員会の開催について

○総務財務委員会

担当執行理事：河本 功

委 員：黒坂 典雄、川合 滋、山田 桂子、末留 勇、前田 正義、  
福島 司

期日	出席委員	検討内容
第1回 平成26年 9月30日	参加3名	①委員長の選出について 矢野 均青森県会長を委員長に選定 ②委員会のあり方について

○事業委員会

担当執行理事：野瀬武敬

委 員：新井田 満壽子、宮澤 淳治、市川 賀三、中 巖、鶴見 正、永野 治、  
河村 次男

期日	出席委員	検討内容
第1回 平成26年 9月30日	参加7名	①委員長の選出について 市川賀三愛知県代表を委員長に選定 ②委員会のあり方について

○共済事業・安全会運営委員会

会長（担当執行理事代理）：丸山 康昭

担当執行理事：磯田 謙一

委 員：山口 四郎、須田 貴子、正木 明、揖場 攝、山本 素直、長 秋美、  
吉井 勇

期日	出席委員	検討内容
第1回 平成26年 9月30日	参加5名	①委員長の選出について 長 秋美宮崎県会長を委員長に選定 ②委員会のあり方について

○コンプライアンス委員会

委 員 長：磯田謙一

会長（委員長代行）：丸山 康昭

委 員：河本 功、野瀬武敬、矢野 均、市川 賀三、長 秋美、成田 國英

監 事：後藤 守吉、中山 ひろみ、

期 日	出席委員	検討内容
第1回 平成26年 9月30日		1) 共済法第18条による立入り検査結果について 検査指摘事項について 2) 業務委託先管理について

		<p>①業務委先の立入り調査について</p> <p>②事務担当者の意識向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務担当者会議の開催について</li> <li>・セルフチェックリストの定期的実施について</li> </ul> <p>3) 研修「コンプライアンス管理の重要性 ～不祥事件をつうじて考える～</p> <p>講師： 社会教育課 PTA 等共済室 PTA 等共済指導係長 吉谷 正 様</p>
--	--	--

6. 内部監査の実施  
実施せず